

日本の食文化をユネスコ無形文化遺産に！

食の文化シンポジウム 「和食の力：だし・うま味」

—無形文化遺産を目指す“和食”・震災復興の現場にみるその力—

日本国は「和食；日本人の伝統的食文化」をユネスコ無形文化遺産に登録申請しました。無形文化遺産を目指す、日本の食文化とは何か、更にその特徴のひとつである「だし・うま味」とは何かを考えます。また震災復興を「食」を通じて支援する取組や、食育の現場での事例を通じて和食がもつ力を探り、その継承の在り方考えます。

入場無料

要申込(先着順)

日時：2013年3月10日(日)

13:30～17:00(開場 13:00)

会場：SHINAGAWA GOOS(品川グース)1階

TKP ガーデンシティ品川「グリーンウィンド」



〒108-0074 東京都港区高輪3-13-3
03-5449-7300

京急線・JR品川駅(高輪口)より徒歩3分

主催：財団法人味の素食の文化センター※

後援：農林水産省

協賛：味の素株式会社※

協力：NPO法人うま味インフォメーションセンター※

参加費：無料(事前申し込み要：裏面をごらんください)

定員：先着220名

※印の団体は「日本食文化のユネスコ無形文化遺産化推進協議会」の会員です。

プログラム (敬称略)

13:30 【主催者・後援者挨拶】

13:40 【基調講演1】「ユネスコ無形文化遺産に申請された和食」

熊倉 功夫 静岡文化芸術大学 学長

【基調講演2】「だしとうま味、その力と魅力」

山田チカラ 「山田チカラ」オーナーシェフ



熊倉功夫



山田チカラ

14:40 【休憩】

14:55 【パネルディスカッション】 「和食のもつ力とその継承」

和食の魅力とは何か、和食のもつ力とは何か、和食の継承はどうすればよいのかについて食を通じて復興支援に参画している方々と、食育の専門家とともに探ります。

コーディネーター 熊倉 功夫

パネリスト【50音順】 岡崎 千晴

福島県南相馬市健康福祉部健康づくり課

齊藤 一真

岩手県立大学・学生ボランティアセンター「DoNabenet」代表

本多 京子

医学博士・管理栄養士

前原 誠一郎

味の素㈱CSR部 復興支援担当部長



岡崎千晴



齊藤一真



本多京子



前原誠一郎

16:15 【休憩】

16:30 【試食】メニュー予定:おにぎり・汁物(だしを味わう)・弁慶和え(南相馬市の郷土料理)

16:55 【閉会挨拶】

17:00 【閉会】

お申し込み方法 【2013年2月25日(月)締切】※お申し込みが定員になり次第、締め切らせて頂きます。ご了承ください。

①郵送でのお申し込み はがきに「氏名」「性別」「年齢」「住所」「電話・FAX 番号」「職業」「質問必須ではありません」を記入のうえ〒104-8680日本郵便株式会社 晴海郵便局 郵便私書箱第80号「食の文化シンポジウム」事務局宛に郵送ください。受付手続き完了後に事務局より入場券を郵送しますので、当日受付に持参ください。

②e-mailでのお申し込み syokusympo@ajinomoto.com

「氏名」「性別」「年齢」「住所」「電話・FAX 番号」「メールアドレス」「職業」「質問必須ではありません」を上記アドレスに送信ください。受信確認のメールを返信いたします。後日、受付手続き完了後に事務局より入場券をメールしますので、印刷して当日受付に持参ください。

③FAXでのお申し込み 下記のFAX申込書をご使用ください。受付手続き完了後に事務局より入場券を郵送しますので、当日受付に持参ください。

FAX申込書 **FAX03-3552-0890**

ふりがな		性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
氏名		年齢	歳
住所	〒□□□-□□□□	都道府県	
	市区郡		
電話番号		FAX 番号	
メールアドレス			
職業 ○を付けてください。	1「食」関連企業 2 マスコミ出版関連 3 教育研究機関 4 その他業種企業 5 行政 6 学生(専門学校/大学/大学院) 7 その他()		
質問 <small>時間が限られるため採用されない場合もあります。ご容赦ください。記入は必須ではありません。</small>			

申し込みに係る個人情報につきましては、本シンポジウムの運営以外には使用いたしません。

問い合わせ先 財団法人味の素食の文化センター 食の文化シンポジウム係 03-5488-7318